

# 伝統的工芸品産業の振興

～「沖縄の伝統的工芸品展」及び「伝統的工芸品産業功労者等表彰式」を開催しました～

## 経済産業部

経済産業省では、伝統的工芸品産業を地域の資源・技術等を基盤として地域経済の発展に貢献するものであり、我が国の優れたものづくり文化の象徴として「日本らしさ」を国内外に発信する責重かつ重要な産業として、維持・発展することに主眼を置き支援しています。

「伝統的工芸品」とは、「100年以上の歴史を有し、今日まで継続している伝統的な技術・技法により製造されるものであること。」などの5つの要件を全て満たし、伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品のことをいいます。

平成27年11月末現在、「伝統的工芸品」は全国で222品目あり、沖縄は京都府の17品目、東京都、新潟県の16品目に次いで、全国に4番目に多い14品目が指定されています。

また、伝統的工芸品に対する国民の理解とその一層の普及を目指して、昭和59年から毎年11月を伝統的工芸品月間と定め、例年自治体等と協力して「伝統的工芸品全国大会」を開催しており、今年は11月5日に富山県高岡市で開催されました。当

て、局1階の行政情報プラザにおいて「沖縄の伝統的工芸品展」を11月19日～20日の2日間開催いたしました。11月19日には、伝統的工芸品産業の振興に関し顕著な功績があつた個人等に対する「平成27年度伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰伝達式・沖縄総合事務局長表彰式」を同会場にて開催しました。



経済産業大臣表彰功労賞(伝統工芸士)を受賞した久米島紬事業協同組合の宮平登美子さん

【沖縄の伝統的工芸品】  
久米島紬、宮古上布、読谷山花織、読谷山ミニサー、琉球紺、首里織、与那国織、喜如嘉の芭蕉布、八重山ミニサー、八重山上布、琉球びんがた、壺屋焼、琉球漆器、知花花織

表彰式は、経済産業大臣表彰功労賞(伝統工芸士)の宮平登美子さん(久米島紬事業協同組合)、同功労賞(学識経験者等)島袋常秀さん(沖縄県立芸術大学名譽教授)、沖縄総合事務局長表彰功労賞(組合役員)の大城つや子さん(琉球紺事業協同組合)、同功労賞(伝統工芸士)宇江城ヤス子さん、伊良皆トシさん(久

米島紬事業協同組合)、同功労賞(学識経験者等)ルバース吟子さん(沖縄県立芸術大学名譽教授)の6名及び各産地組合の理事長等関係者にご出席頂き、盛大に開催されました。

「沖縄の伝統的工芸品展」では、伝統的工芸品産業支援補助金を活用して実施している後継者育成事業や意匠開発事業の成果品及び今年度功劳賞受賞者の作品等を展示し、那覇市内4会場で開催された「工芸フェア」や「第38回沖縄県工芸公募展(沖縄県主催)、「第39回首里織展」(那覇伝統織物事業協同組合主催)、「第36回壺屋陶器まつり」(壺屋陶器事業協同組合)等と連携してイベント会場スタンプラリーを実施することで、局職員だけでなく、多くのお客様にご来場いただきました。



(上)受賞者のみなさん



(左)会場の様子